

第8章 相違の減少

要約：

1. 欧州の国々はおおむね差異が減っていった。
2. 東西ヨーロッパの相違は深化していた
3. ヨーロッパ人は、80年代の半ばからふたたび「ヨーロッパ」について議論をはじめた。

植民地帝国とポストコロニアリズム

植民地帝国と植民地を持たないヨーロッパ諸国との古い対立は解消されていった。
要するにかつての帝国は、もはや植民地帝国ではなくなり、ヨーロッパ-第三世界間の関係において、旧宗主国が（他のヨーロッパ諸国より）有利な立場にいるわけではなくなった。

フランス - アルジェリア（アルジェリア独立戦争）

イギリス - ジンバブエ（ローデリア問題）などは「特別な緊張状態」。

ただし他の旧宗主国-旧植民地関係は「密接」

かつての宗主国は、アフリカやアジアにおける政治・経済・文化に関心を払った。

→BBC ワールドサービス、RTF・ラジオ・フランスなど国際番組を作成。

移民がかつての植民地帝国の首都にやってくる。

フランス：アルジェリア人、ベトナム人、西アフリカ人

イギリス：インド人、パキスタン人、中国人

オランダ：スリナム人、インドネシア人

植民地帝国の言語は、植民地の言葉になった。 Ex;クレオール語

英語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語は非ヨーロッパ諸国で公用語になった。

南北対立

北：民主主義国家

南：軍事独裁国家

で、南北間で国家のシステムが異なっているよねって話。

ギリシア：ギリシャ軍事政権

スペイン：word、スペイン内戦、フランシスコ・フランコ

ポルトガル：本文

・三つの南ヨーロッパの独裁国家が、1970年代に民主主義体制を導入したのは、経済的な根本的変化によるもの：欧州共同体の改革プロジェクト、NATOの緊張緩和政策

・スペイン人とポルトガル人は英語を話せなかった。この二国人は他のヨーロッパの国民とのコミュニケーションが閉ざされた。

工業諸国と農業諸国の間の対立はやわらいだ。

工業への就業率は、かつての工業国では低下して、かつての周縁国では上昇した。第三次産業においては、比較可能な差異は発生しなかった。非識字率は、ポルトガルとトルコを除いて、改善された。フィンランド、イタリア、アイルランドなどは富裕国になった。バルカン半島、東ヨーロッパの大部分はいまだに貧しかった。

ヨーロッパ各国間の相違の限定的な減少

少なくとも経済政策の初決定の半分が欧州委員会と閣僚理事会によって下されていた。欧州裁判所も70年代以降、重要な国境横断的な判断を生み出した。

欧州共同体の戦略

- ① 規格を統一して消費のグローバル化をはかる。 → p.191 lines.14-23
- ② 各国固有の独自性を生かした競争を促す。 → しかし、統一化戦略が優位を示す。
- 3 (欧州共同体としての戦略ではなく)

西ヨーロッパ各国の首脳が、ヨーロッパ内外部と積極的な交流を図った。こうした交流によって、社会支出、出生数、都市化についての相違は減少した。

ふたつの世界大戦によって生み出された敵対的なイメージは、70年代以降、減退した。フランス - ドイツ間にさえ信頼が芽生えた。

「生存競争」より「協力関係」

ナショナルな独自性は、興味深い個性・革新の可能性と好意的に解釈されるようになる。

コメコン：まずはリンク先を読む。

<http://www5.cao.go.jp/keizai3/seikaikeizaiwp/wp-we71/wp-we71-00407.html>

コメコンは東欧諸国間にある**相違**を削ぎ落とさなかった。

「なぜなら、非常に中央集権化された計画経済の論理のなかで、国民経済の原則が欧州共同体よりも強く認められたからである…東中央ヨーロッパ諸国の工業経済とソ連との間の、コメコン内部の相違は、それによってむしろいっそう固定化された」

第二次世界大戦の道徳的結果の相違

西ドイツは「解放」概念を「幸福のために尽力したドイツ」においても用いるべきだと主張した。ドイツ内部での日常的な限定的な「抵抗」が研究で明らかになった。それと同時に、他方、市民の多くが「共犯者」であったこと、国防軍が虐殺に深く関与していたことが激しく議論されるようになった。かつての被占領国でも、抵抗の業績だけでなく、「共同責任」が議論されるようになった。

冷戦による相違の更なる深化

p. 195 lines. 14-19

p. 195 line. 24 - p. 196 line. 5

東ヨーロッパでは商品とサービスの供給で隘路が発生した。 ← コメコン
「東ヨーロッパの製品は世界市場ではしばしば競争力がなかった」

東ヨーロッパの更なる危機の兆候は、経済・社会政策において西側のマネタリズムや福祉国家批判と完全に対立した傾向を貫き通したことであった。

ビーアマン追放

<https://www.youtube.com/watch?v=0e6q6tLRzGM>

<http://keroblog.exblog.jp/7803626>

おまけ。好きな歌（狼狩り）

<https://www.youtube.com/watch?v=WziluGvXsr4>

東欧のほうが余命が短かった。自動車やテレビは、西ヨーロッパで普及しきったころになって、東欧で広まりだした。進学率は西ヨーロッパでより大きく増加した。旅行は、東ヨーロッパでは、政治的な理由から、ほとんど浸透しなかった。

80年代の半ばから、ヨーロッパ人は長い無関心の時期の後に、再びヨーロッパについて議論を始めた。